

1年生総合科学科 校外研修

5月2日(火)1年生の総合科学科3クラスで「人と自然の博物館」に行きました。

研修の内容は「イカの解剖」、「化石のレプリカの作成」、「館内見学」でした。

初めての体験も多く、生徒たちは楽しみながら学習することができていました。

各研修の様子を報告していきます。



イカの解剖

研究員の和田先生の指導の下、2人で一匹のイカを解剖しました。

最初は怖がってイカを触れない生徒ばかりだったが、最後には最後にはイカをわしづかみにして触れたり、多くの生徒たちが積極的に解剖に取り組んでいました。

「墨袋が意外と小さかった」、「目汁が思った以上に飛んだ」、「水晶体がきれい」などいろいろな声を聞くことができました。

生の生き物に触れる（解剖する）貴重な機会を与えていただきました。



化石のレプリカの作成

研究員の生野先生の下、アンモナイトの化石のレプリカの作成を行いました。

本物のアンモナイトの化石から型をとったシリコンの型に「お湯丸」というやわらかいプラスチックを押し込み、冷水で冷やして固めるという工程でした

生徒たちは自分の好きな 2 種類の色を選び、カラフルなアンモナイトのレプリカを作っていました。

レプリカの作成が終わった後は、貴重な化石は削ったり切ったりできないため、レプリカで観察するなどレプリカを研究でどう用いるかなどのお話をさせていただきました。



館内見学

館内見学では学校でもらったワークシートで各自事前学習をし、展示を見て、自分の予想が正しいか答えあわせをするという学習をしました。

館内では兵庫についての幅広い展示を見ることができました。「兵庫の動植物の生態系」、「地層や化石」、「阪神淡路大震災」などについて学びました。

後日、情報の授業でこの館内見学で学んだことをまとめてプレゼンを行います。プレゼンの資料を作るために、生徒たちは真剣にメモを取ったり、写真を撮ったりしていました。

